

「新都心公園避難村（防災フェス）」

応募チーム名：わくわく新都心@okinawa：沖縄県那覇市

（特徴）

那覇市新都心地域は学校や自治会・地域の活動団体等を通じた住民どうしの連携が弱いことから、災害時に助け合いやスムーズな避難ができるかどうかという点で不安があった。そのため、ペット同伴での避難を含む防災キャンプや炊き出しメニューの開発、ファッションショーなど、参加したくなるような様々な防災イベントの開催を通して様々な住民との繋がりを作ろうとしている。特に、直接繋がりを作ることが難しいものの支援が必要な住民にもアプローチするため、「当事者と繋がっている人」と繋がることによって、災害時には関わることができるようにすることを重視している。



（アドバイス）

1. デジタルデバイドの解消やデータのオープン化に向けた取り組みの実施

チームでも課題と捉えていらっしゃるように、スマートフォンなどを所持していない人や SNS を利用していない人に対してどのように情報を届け、知識を共有するかに関する仕組みを検討されることが必要ではないでしょうか。地域にある資源や人材を繋ぎ、できる限りすべての人に必要な情報や支援が行き渡る体制を作るとともに、防災関連のデータを公開して住民の皆さんが自らアクセスできるようにしておくことも有益と考えられます。海外では、自治体が同じ情報を必ずオンラインとオフラインの両方で公開する取り組みも進められています。これまでの取り組みで作られてきた繋がりを活用し、さらに発展されることを期待します。

2. 新型コロナを契機とした、感染症対策を踏まえた避難のあり方やオンラインでの活動の検討

新型コロナウイルス感染症の流行を受け、災害時の避難にあたっては、多くの人が密閉状態の避難所に密集することを避ける分散避難の必要性が高まっており、この観点からも、これまで取り組んでこられた「防災キャンプ」のような避難のあり方は有効と思われます。他の地区や全国にも知見を共有していただくことを望みます。また、自宅に留まりながらでも実践できる防災アイデアの発信を始め、オンラインでも実施可能で参加したくなる企画を検討し、実施されてはいかがでしょうか。これらにより「新都心公園避難村」の企画の特徴を生かした取り組みに進んでいかれることを期待します。

3. 収支計画の作成、および公益法人化を含めた将来的なビジョンの策定

現在は企業等からの寄付で活動を実施されているようですが、安定的な資金源を確保するため、参加者がお金を払っても良いと思えるようなコンテンツや物品を作ることも検討されてはいかがでしょうか。その上で、収支計画を作成し、例えば将来的な公益社団法人化なども見据えたビジョンを策定されると良いでしょう。

4. 那覇市役所への期待

那覇市役所には、行政が持つ様々なチャネルを通じて、オンラインでの繋がりを作ることが困難な住民の方々に対しても必要な情報・有益な知識を届ける仕組みづくりにおいて主導的な役割を果たされることを期待致します。